

保守メンテの重要性

老健施設のエコキュート設置時に、屋外機器からメンテナンス用データ配線を屋内まで敷設したところ、「悪天候時の点検で有効である」との評価を受け、メンテナンス契約、追加工事受注に繋がった。	
1. 既存設備の概要 とお客様の要望	【既存設備の概要】 老健施設 RC4 階建て 業務用エコキュート ×3 台 40kW 貯湯タンク ×1 基 25トン 循環ポンプ ×3 台 【お客様の要望】 老健施設のため、点検や故障時に長期停止させたくない。
2. 提案した解決策	【提案した解決策】 担当者の方の了解を得て、機器設置と同時に、屋外の機器からメンテナンス用データ配線を屋内まで敷設し、悪天候であっても点検作業を容易で確実に実施できるようにした。
3. 得られた成果と お客様の評価	【成果】 竣工後のアフター点検において訪問時は雪が降っていた。訪問当初悪天候のため、お客様側から点検は延期と提案がありましたが、メンテナンス用配線を使用し点検を行った。 その結果、今後起こる機器の異常時に、ある程度天候に左右されずに点検ができる安心感を持って頂いた。 【お客様の評価】 竣工より約4年がたち、実際に機器が異常にて停止したことがある。 給湯に一番負荷がかかる積雪時の異常停止であった。 伝送ボックスのカバーを開けることにより二次災害を招く危険があるような状況であった中、今回の配線を用い安全な点検を実施することができた。 点検風景を見ていたお客様より、追加工事を実施してよかったと満足して頂いた。
4. 今後の課題と 展開	【今後の展開】 機器設置と同時にメンテナンスが始まることもご理解いただき、メンテナンス契約及び追加工事の受注に繋がった。